

境町が大家さん！ 令和5年度境町の家賃収入

No.	施設名	家賃等 町への収入 (令和5年度実績)
1	モンテネグロ会館	18 万円
2	S-startup	45 万円
3	S-study&heart	144 万円
4	S-Alohapark	120 万円
5	S-cafe (Oyako 食堂 ごはんの樹)	36 万円
6	S-ブランド (ほしもの百貨カフェ)	120 万円
7	S-Lab 2nd	864 万円
8	S-Lab 3rd	225 万円
9	S-Lab 4th	195 万円
10	S-wave	798 万円
11	小児科病院+院外薬局	390 万円
12	さかいサンド	360 万円
13	河岸の駅さかい	204 万円
14	8代葵カフェハワイ境店	920 万円
15	道の駅さかいレストラン茶蔵	500 万円
16	FOOD TERRACE SAKAI	120 万円
17	焼肉 wo-29 Butchers	1,061 万 1,000 円
18	パークホテルさかい	120 万円
19	PFI事業 (アイレットハウス)	848 万 7,000 円
20	定住促進戸建て住宅・定住促進住宅・町営住宅	2,600 万円
合 計		R5 年度は 9,688 万 8,000 円 の収入！

家賃ってことは、定期的に9千万以上の収入が町に入ってくるの？

その通りです。

さらに施設が増えたため家賃収入も増え、**令和6年度は1億4千万円以上の収入**が毎年、安定的に町へ入ってくる見込みとなっています。そのための基金 (貯金先) も作りしました。

家賃以外にも、令和5年度時点で、**企業誘致による固定資産税は年間約6千万円**ほどの収入があり、今後増加していく見込みです。

IC周辺の工場もいろんな施設も10年前には、一つもなかったからほぼ0円だったところから、今はこれだけの収入が新しく入ってくるようになったんですね！

実は、人口増加に向けた、手厚い子育て支援や移住定住政策が好評をいただき、宝島社の発行する「田舎暮らしの本2025」で、**境町が「移住者増の人気地ベスト100」で全国1位を獲得**しました。

今後も、子育て世帯の移住を促進し、町の将来を担ってくれる子どもや子育て世帯の人口増加を目指し、住宅整備などを推進して、税収アップを図っていく予定です。

また、新しい産業を生む施設の整備や、企業誘致などを積極的に推進し固定資産税や賃料収入など、安定した収入源を確保して今いる住民の皆さんが住みやすくなるようなサービスをさらに充実して参りますので、よろしくお願いします。



Q. 子育て支援政策とか、移住用の住宅とか子どもや子育て世帯向けの政策が手厚いのはなんでなの？

A. これからの社会保障費を支えるのは、若い世代ですね。将来を担う子どもや、今を支える子育て世代がいなくなったら税収が減ります。そして、年金、医療、介護などに使えるお金がなくなり、社会保障費が値上がりします。つまり、**高齢者の負担が増えてしまう**んです。

子育て支援で全国的に有名な、兵庫県の明石市では年間の子育て関連の予算を、それまでの2倍以上となる300億円に倍増したところ、人口が増え、市の税収は8年間で32億円も増加しました。その結果、高齢者への支援にも、これまで以上の予算が回せるようになったという好循環が生まれています。

子育て支援で人口が増えると、まちが元気になって、めぐりめぐって町民みんなの負担が減るってワケなんだな！

境町の人口は令和7年1月17日の時点で**57人のプラス**になりました。これは子育て支援や移住定住政策の成果によるものです。



ほかにも町では、ふるさと納税や工場誘致、さまざまな施設整備に力を入れ、固定資産税や家賃など町の収入を増やしています。次のページの表は、これまでに町が整備した施設から得ている家賃収入です。